

NEXCO東日本グループ 主要重点計画とSDGsへの貢献

本表は、NEXCO東日本グループの中期経営計画(2021年度～2025年度)における主要重点計画に対して、NEXCO東日本グループが事業を通じて貢献するとした主要なSDGs(3,8,9,11,13,17)をマッピングしたものです。

※本表は、中期経営計画(2021年度～2025年度)における主要重点計画に対しての紐づけであり、その他の恒常的な取組みは含まれていません。

※本マトリクスは、笹谷 秀光氏の整理学に基づき整備したものです。

		NEXCO東日本レポート 関連目次 (代表事例のためすべてを表現していません)		3	8	9	11	13	17
基本方針1	安全・安心で自動運転等のイノベーションにも対応した快適な高速道路の実現								
安心・安全	* 事故多発地点、暫定二車線区間における新たな技術を活用した安全対策	P.24 (交通安全施設の充実でお客さまを危険から守る)	●		●	●			
	* 首都圏等の交通集中箇所におけるハード・ソフト対策(関越道、京葉道路等)、料金施策による渋滞対策	P.43～P.44 (速度低下による渋滞回避) (AI(人工知能)を活用した渋滞予測)	●		●	●			
	* 交通規制の最小化、減災対策及び事故防止につながる研究、技術開発	P.31 (災害に強い道路づくり) P.34 (お客さまへの影響を最小限に)	●		●	●			
	* ドライバーストレス軽減を目的とした本線速度規制引上げ(120km/h)への対応	P.35～P.38 (ネットワークの整備で暮らしの向上)			●				
イノベーションへの対応	* 自動運転に対応した道路側整備の方針を策定し、モデル事業を試行運用	P.45～P.46 (自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想))		●	●				●
	* 隊列走行・ダブル連結トラックへの支援環境を整備(本線合流部安全対策等)	P.45～P.46 (自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想))		●	●				●
	* 給油・給電施設等の効率的な供給体制を整備	P.45～P.46 (自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想))			●			●	
高度化・効率化	* 遠隔監視システムやAI、センサー等の新技術を活用した道路管理の高度化	P.45～P.46 (自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想))		●	●			●	
	* 遠隔収受など料金管理業務の高度化・効率化及びETC専用化に向けた取組み	P.25 (労働人口の減少を見据えた料金収受の高度化・効率化)	●	●	●				
基本方針2	老朽化や災害に対する高速道路インフラの信頼性の飛躍的向上								
老朽化対策	* SMH(スマートメンテナンスハイウェイ)の定着及び深化を図るとともに適用領域を拡大し、遠隔点検のための設備整備などにより、維持管理業務の高度化及び生産性を向上	P.27～P.28 (SMHプロジェクトの推進 ～管理事業の生産性向上～)		●	●				●
	* 資産健全化のための老朽化対策及び本格的な予防保全	P.33 (高速道路リニューアルプロジェクト)		●	●	●			
	* 大型車両の通行の適正化により、車両制限令違反車両を削減及び橋梁健全率を向上	P.23 (熟練の現場でお客さまの安全を守る [法令違反車両の指導取締り])			●				
	* リニューアルプロジェクト推進のための技術基準等を整備	P.33 (高速道路リニューアルプロジェクト)	●	●	●				
災害対応	* 建造物の耐震性能を向上させるとともに、防災拠点を整備、管制センター機能を強化及び組織の災害対応力を向上	P.31 (災害に強い道路づくり)			●	●	●		
	* 風水害対策として機能強化と基準の最適化を図り、通行止めを最小化	P.29 (雪道の安全対策)			●	●	●		
	* 大雪時の対策強化とCT技術等による高度化・効率化した雪氷作業システムの構築により、通行止めリスクの最小化を図るとともに、冬期の通行止めによる車両滞留現象の発生を抑制	P.30 (安全対策の高度化)		●	●	●	●	●	●
	* 災害復旧事例のデータベース構築により災害対応を迅速化	P.27～P.28 (SMHプロジェクトの推進 ～管理事業の生産性向上～)			●	●	●		
新技術の活用・展開	* RZS(ロードジッパーシステム)など高速道路関連新技術を活用・展開	P.34 (お客さまへの影響を最小限に)	●	●	●	●			
基本方針3	高速道路の整備・強化と4車線化の推進によるネットワーク機能の充実								
ネットワーク機能強化	* 首都圏環状道路を中心とした高速道路ネットワーク強化を検討及び工事の安全を確保しつつ整備を推進(圏央道、横浜環状南線、東関東道、東京外環道、東埼玉道路など)	P.35～P.38 (ネットワークの整備で暮らしの向上)	●	●	●	●			
	* 計画的な4車線化及び付加車線事業(道東道、秋田道、磐越道、常磐道、圏央道など)	P.35～P.38 (ネットワークの整備で暮らしの向上)	●	●	●	●			
	* 休憩施設整備と連携したSA・PA商業施設を新設(坂東PA、山武PAなど)	—		●	●	●			
	* スマートIC等による地域とのアクセス強化(長流枝、菅生、山形PA、蓮田、三芳、大槻など)	P.35～P.38 (ネットワークの整備で暮らしの向上)	●	●	●	●			
新技術による高速道路整備	* i-Constructionを推進しSMHとの連携を図るとともに、AI/IoT技術による工事管理の効率化・安全管理を強化	P.38 (i-Constructionの推進)		●	●				
	* 耐久性に優れた舗装補修技術の研究・技術開発	P.33 (高速道路リニューアルプロジェクト)		●	●				
基本方針4	多様なお客さまニーズを踏まえた使いやすさの追求								
快適・便利	* お客さまの属性の変化や新たな生活様式に対応したSA・PA商業施設のサービス機能を強化、拡充	P.47 (より便利で快適なSA・PAへ) P.48 (施設の利便性向上)		●	●	●			
	* 休憩施設の混雑緩和対策、リアルタイムな満空情報及び快適な休憩空間等を提供	P.45～P.46 (自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想))			●	●			
	* 災害・交通障害発生時のリアルタイム情報提供を高度化	P.45～P.46 (自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想))	●	●	●	●			
	* 新たな料金システムの開発による機動的な料金への対応	—		●	●	●			
地域社会への貢献	* 高速道路を活用し、地域連携や新たな付加価値を創出	P.61～P.62 (SA・PAを生活の一部に) P.62 (地域活性化の拠点として)		●					●
	* インバウンドなど多様な旅行者が訪れる地域の観光振興を通じた地域活性化への貢献	P.63 (旅行を喚起し、交流人口の増加に貢献) P.64 (高速道路から降りずに泊まる(情報発信で地域をつなぐ))		●					●
基本方針5	ポストコロナ時代におけるグループ全体の経営力の強化								
経営力の強化	* 持続可能な社会の実現に向けたSDGsの達成への貢献	P.14 (中期経営計画(2021年度～2025年度))							
	* パンデミックにも対応する強靱なグループ経営	P.13 (グループ経営ビジョン・経営方針)			●				
	* 技術力・ノウハウを活かした持続可能な国際協力	P.65～P.66 (高速道路事業の海外展開)(国際社会の発展への協力)(様々な国・技術者との交流)				●			●
	* グループ社員の能力開発及び人材育成のための研修等	P.71～P.72 (能力発揮と成長を支える人材プログラム)(技術力・マネジメント力の向上)		●					
	* SA・PA事業における社会環境の変化に対応できる収益基盤を構築	P.61 (SA・PAを生活の一部に)		●					
	* 外部とのアライアンス等により新たな収益の柱となる事業を組成	P.49 (業界の垣根を超えたイノベーションへの挑戦)		●					●
	* インド事業の継続発展及びコンサルティング業務・アドバイザリー業務の実施を推進	P.65～P.66 (インドの道路運営事業への参画)(国際社会の発展への協力)		●	●				●
* 持続可能な新たな海外事業を検討・試行実施	P.65～P.66 (高速道路事業の海外展開)(国際社会の発展への協力)(様々な国・技術者との交流)		●	●				●	
環境保全	* 低燃料、低排出機器等の積極活用及び消費エネルギーの最小化	P.51 (NEXCO東日本 温室効果ガス排出削減計画の策定)	●		●	●	●		
	* 2050年二酸化炭素実質排出ゼロなどの環境方針に基づいた環境マネジメントシステム(ISO14001)の推進及び認証継続実施	P.51 (NEXCO東日本 温室効果ガス排出削減計画の策定)	●		●	●	●		
基本方針6	新たな日常に対応した誰もが生き生きと働けるワークスタイルの実現								
業務効率化	* 全ての業務プロセスのデジタル化、スマートデバイスを活用した業務スタイルへの変換及び新しい働き方であった環境整備	P.72 (生産性と効率化の追求)		●					
	* 押印、決裁、文書保管のあり方等業務の効率化及びテレワーク等新たなワークスタイルの推進	P.72 (生産性と効率化の追求)		●					
	* 新たな調達管理システムの導入及び調達手続きフローの見直しによる働き方改革の推進、DX(デジタルトランスフォーメーション)の実現	P.72 (生産性と効率化の追求)		●					
生き生きと働ける職場環境	* 長時間労働の削減及び年次休暇取得の更なる推進により年間総実労働時間を削減	P.69～P.70 (誰もが健康で活躍できる労働環境の構築)	●	●					
	* 更なる安全意識の向上と工事中事故削減への取組みなど労働安全衛生を推進	P.69～P.70 (誰もが健康で活躍できる労働環境の構築)	●	●					